

公共交通シンポジウム 開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、公共交通シンポジウムを開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

○公共交通シンポジウム

日 時：2023年6月28日（水）14：00～17：00

会 場：ベルサール御成門タワー3階ホールおよびオンライン配信（Zoom ウェビナー）

テーマ：2050年 どうする！公共交通

～2050年の日本を支える公共交通のあり方とは～

1. 来賓挨拶

藤井 直樹 国土交通事務次官

2. 基調講演

「コロナ後の変化と2050年の未来に向けた期待」

講 師：森地 茂 政策研究大学院大学名誉教授 客員教授

2050年の日本を支える公共交通のあり方検討委員会 座長

3. 提言報告

報 告 者：2050年の日本を支える公共交通のあり方検討チーム（運輸総合研究所 研究員）

4. パネルディスカッション

コーディネータ：加藤 浩徳 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授

2050年の日本を支える公共交通のあり方検討委員会
地域間交通小委員会 座長

パネリスト：福田 大輔 東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授

2050年の日本を支える公共交通のあり方検討委員会
地域内交通小委員会 座長

有村 幹治 室蘭工業大学大学院工学研究科 教授

奥村 誠 東北大学災害科学国際研究所 教授（オンライン参加）

神田 佑亮 呉工業高等専門学校環境都市工学分野 教授

概 要

運輸総合研究所では、2050年をターゲットとして、日本社会の変化や目指すべき社会の姿を想定した上で、日本を支える公共交通のあり方を示し、その具体化に必要な施策や検討の方向性を示すべく、公共交通の各分野に造詣の深い学識経験者を交えて検討を進めてきた。

本シンポジウムでは、これまでの検討成果としての提言（近日中に公表予定）について報告を行うとともに、2050年においても、国土の骨格となる幹線交通、生活の足となる地域公共交通、グローバルな交流の基盤となる国際交通が日本を支える社会インフラとして十分な機能を全うしていくために、誰が何をなすべきか、またそのために必要な社会的合意をどのように形成していくべきか等について、検討に参画した方々や聴講者とともに考察を深めていく。

参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/symposium230628>

（申込期限：6月26日（月）まで）

※会場が定員に達し次第来場については締め切らせていただきますので
ご了承ください。

なお、オンライン参加についてはシンポジウム開始直前まで
受け付けております。

※プログラムは変更になる可能性があります。



運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

お問合せ：一般財団法人運輸総合研究所（担当：新倉・前田）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19(UD 神谷町ビル)

TEL : 03-5470-8415 FAX: 03-5470-8401

E-mail: collo@jttri.or.jp

HP: <https://www.jttri.or.jp/>